

2021年度 広島修道大学の事業計画 <概要>

区分 (中期事業計画)	主要項目	具 体 策	所管 部局	実施月
<b>I. 教育と学生支援の充実</b>				
1. 教育の充実と 質保証	1) 教学マネジメントの検討推進	① 教学マネジメント体制整備のもと、「教学マネジメント指針」に則った、本学における取り組み内容、計画について整備し、優先順位を決めて取り組む。	教学C 各学部 学長室	通年 通年
	2) 次期カリキュラムの検討推進	① 第3期認証評価の改善課題を踏まえ、2023年度の新カリキュラムに向けて、学部、学科、グループ、関係部局等と調整を図りながら整備を進める。	教学C 各学部	通年
	3) アセスメントプランの策定	① 2022年度の大学基準協会への報告を念頭に、アセスメントプランに関する認識を学内で共有する。特に学生の4年間における成果の把握・評価を策定する。	教学C 各学部	通年
	4) 学習支援体制の整備	① 2023年度新カリキュラムに向けて、修道スタンダード科目における「修大基礎講座」のあり方について検討し、方針および内容について策定する。	学習支援C	通年
	5) ICT教育の整備	① 2023年度新カリキュラムに向けて、修道スタンダード科目等の情報教育のあり方と内容について検討し、方針および内容(使用する教材やツール等を含む)について策定する。	情報C	通年
	6) リカレント教育の検討	① リカレント教育に関する全学的な取組の方向性を検討する。 ② オープンアカデミーの充実化と将来展開について検討し、リカレント教育導入に向けた課題を抽出する。	学長室 ひろみらC	通年 通年
	7) 文部科学省ACへの対応	① 国際コミュニティ学部(設置4年目)への対応・報告をする。	国際コミュニ ティ学部 教学C 学長室他	5月
	8) 新設学部等の円滑な運営	① 国際コミュニティ学部の円滑な運営・科目開設を図る。 ② 学部完成年度以降の教育組織(教員採用等)のあり方について検討し、整備を図る。	国際コミュニ ティ学部 健康科学部 教学C 総務部 学長室他	通年 通年
2. キャリア教育 の充実	1) 全学的キャリア教育・学生支援体制の構築	① 全学的キャリア教育と学生支援体制のあり方を検討する。 ② 2023年度新カリキュラムに向けて、修道スタンダード科目におけるキャリア教育について検証、検討し、方針および内容について策定する。	キャリアC 教学C	通年 通年
	2) インターシップ体制の整備	① インターシップ体制のあり方について検討し、整備する。	教学C キャリアC	通年
3. グローバル教育 の充実	1) 海外派遣支援制度の見直し	① 学生の海外派遣制度における財政支援制度を検討、構築する。 ② 交換留学の派遣先の派遣条件(留学資格要件等)や待遇(宿泊費免除等)に関する検討、交渉し、改善する。	国際C	2月 12月
	2) 海外派遣プログラムの見直し	① 2023年度開始の新制度による学生の海外派遣制度を検討、構築する。 ② オンライン留学プログラム(単位化も含めて)を検討、構築し、実施する。 ③ 交流の中心となっている協定校の関係の強化および、過去における無交流協定校と交流協定のあり方について検討する。 ④ 全初修外国語(特にフランス語・スペイン語)による短期海外セミナーの新規開発の検討および原案を作成する。	国際C	2月 2月 10月 10月
4. 学生生活支 援	1) 課外活動等の活性化支援	① 課外活動支援について、制度の内容及び導入を検討し、策定する。 ② UNIVAS実施事業を検討・推進する。	学生C	通年 通年
	2) 奨学金制度の見直し	① 大学における給付奨学金制度について検討し、見直しを行う。	学生C	10月
	3) 就職支援体制の強化	① withコロナ、afterコロナ時代への対応も含め、企業の採用手法等、動向の変容に対応した、支援の検討並びに展開を行う。	キャリアC	通年
5. 新型コロナウイルス感染 対策	1) 授業方法変更への対応	① 学生の学修環境を整備する。 ② 教員の授業実施環境を整備する。	学長室 教学C 情報C 総務部 財務部	通年 通年
	2) 感染拡大防止	① 学生・教職員の感染防止策を徹底した学事等のあり方見直し(検討)。 ② 授業、職場等、学内の環境見直しと衛生管理を強化する。	学長室 総務部 財務部 教学C 学生C	通年 通年
<b>II. 研究活動の推進</b>				
1. 研究活動推 進・支援	1) 研究活動推進・支援	① 文部科学省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」の改正への対応を行う。	ひろみらC	3月

区分 (中期事業計画)	主要項目	具 体 策	所管 部 局	実施月
<b>III.地域連携・地域貢献</b>				
1.地域連携・地域貢献の推進	1)地域連携・地域貢献の推進	①「ひろみらシンクタンク」について体制を整備し、実施を推進する。 ②「ひろみら地域協創スタジオ」の実施、推進による連携協定先との連携強化を図る。	ひろみらC	3月 3月
	2)スポーツ・文化活動を通じた地域貢献の推進	①連携協力協定を活かした地域連携体制および実施事業計画を検討、実施する。	学生C	通年
<b>IV.入試制度の整備と志願者の獲得</b>				
1.入試制度の改革	1)入試制度改革	①入試制度検討ワーキンググループの検討結果を踏まえ、入試制度を検証し、見直し案を策定する。	入学C	3月
2.志願者の獲得	1)各種イベントの実施	①オープンキャンパスなどのイベントの開催について、Web等の利用も視野に入れた開催手段と内容を検討、実施する。	入学C	12月
	2)情報発信力の強化	①高校生、保護者に有益な情報を発信するため、入試情報サイト、LINE@、Web広告などの充実を図る。	入学C	12月
<b>V.大学組織・運営の強化</b>				
1.組織改革・改善	1)学部・学科改組	①新学科設置に向け、届出、設置認可(設置趣意書の作成、カリキュラムの策定等)対応を進める。 ②収容定員増の申請対応を進める。	学長室 人文学部 教学C 総務部 財務部	通年 通年
	2)大学院改革の検討	①大学院のあり方について検討する。	各研究科 教学C 学長室	通年
	3)事務システム・業務の改善	①業務データ及び情報システムの一元化検討と計画を策定する。 ②業務情報システムにおけるクラウドサービス利用についての検討及びガイドラインを作成する。 ③各部署における申請業務等の電子化への対応を検討する。	情報C 学長室 各部署 総務部	通年 通年 通年
	4)新教学システムの導入	①2022年4月の新教学システムの稼働に向けて、導入計画に従って実施する。	教学C	通年
	5)旅費の見直し	①旅費規程の見直し、旅費システムを導入する。	総務部	3月
	6)教員DBシステムの見直し	①教員DBにおける公開・非公開情報のありかたを検討し、Researchmapの活用を含めシステムの見直しを図る。	総務部 ひろみらC	通年
	7)機関リポジトリ管理体制の整備	①学術機関リポジトリデータベース(IRDB)変更スケジュールに沿った移行準備およびデータの見直しを実施する。 ②業務継承のため、業務を標準化する。	図書館	5月 3月
	8)図書館運営体制の見直し	①学外者利用ルールの見直しおよび規程改正を検討する。 ②館内施設および設備の改修を検討する。	図書館	9月 3月
	9)新給与制度の検証	①新給与制度の運用および検証を行う。	総務部	3月
	10)人事制度の見直し	①専門業務型裁量労働制を検討、導入する。	総務部	3月
2.設備・財政基盤の強化	1)新体育館の建設	①ワーキング・グループを設置し、基本計画を策定する。 ②設計・監理業者を決定する。 ③地盤調査、測量等を実施し、基本設計に入る。	財務部	8月 11月 3月
	2)校舎等建替計画の見直し	①1,2号館の老朽化に伴い、校舎等建替計画(2017年策定)の見直しに着手する。	財務部	通年
	3)寄附金制度の充実	①寄附金事業の推進、強化を図る。 ②「修道学園創始300周年新体育館建設事業」の寄附金募集趣意書を作成し、募集を開始する。	総務部 財務部	3月 3月
	4)計画営繕事業の実施	①5号館屋上防水等の計画営繕工事を実施する。 ②中長期計画営繕事業の検証と見直しを行う。	財務部	通年 通年
	5)学内禁煙環境の整備	①学内禁煙計画とその指導、啓発等の対応計画を作成し、実施する。	学生C	通年
<b>VI.危機管理・広報の強化</b>				
1.危機管理の強化	1)BCPの策定	①BCP検討チーム会議にて検討し、BCPを策定する。 ②策定したBCPに基づき、必要予算を要求する。	財務部 学長室	9月 10月
	2)危機管理体制の強化	①策定BCPに基づき、関連規程の策定、改正等、危機管理体制の強化を図る。	学長室	3月
	3)海外派遣等における危機管理の強化	①海外緊急対応に関する制度設計(マニュアル化等)の検討、制定する。	国際C	12月

区分 (中期事業計画)	主要項目	具 体 策	所管 部 局	実施月
2.産学官連携リスクマネジメント	1)産学官連携リスクマネジメント	①利益相反マネジメントについて検討、構築する。 ②技術流出防止マネジメントについて検討、構築する。 ③秘密情報管理体制について検討、構築する。	ひろみらC 総務部	3月 3月 3月
3.広報・広告の強化	1)戦略的な広報展開	①WEBサイトの改修、移行を完了させ、今後の改善計画を立案・実施する。 ②情報収集・発信強化にむけ、全学的な広報体制を見直す。 ③マスコミ対応・連携の強化策について検討する。	学長室	通年 通年 通年
4.記念事業の実施	1)人間環境学部20周年記念事業の検討(2022年度)	①学部20周年事業計画を検討する。	人間環境学部	通年
<b>VII.内部質保証</b>				
1.内部質保証の整備と強化	1)全学的内部質保証体制の整備	①教学マネジメントを含めた全学的な内部質保証体制のあり方について整備する。 ②内部質保証システム(全学・学部・研究科)の検討および指針を作成する。	学長室 各学部 各研究科	3月 3月
	2)自己点検・評価体制の整備	①自己点検・評価委員会について整備する。 ②本学PDCAサイクルの実質化を図る。	学長室	5月 3月
	3)IRの推進	①学習動向、各種大学プログラムの分析・報告を行う。 ②IR事業を推進する(大学基礎数値、教育成果指標等の整理・検討)。	学長室 教学C他	通年 通年
	4)認証評価結果への対応	①認証評価指摘事項(改善課題)への対応および、報告書の作成に入る。	学長室 各学部 各研究科 教学C	3月